

ブラックバスの産卵期を対象とした 外来魚生息実態調査を実施します

～ 5月27日（水）11時から、阿武隈川大正橋付近にて～

国土交通省 福島河川国道事務所では、阿武隈川での外来魚（ブラックバス類、ブルーギル）の増加と、その問題に対応するため、継続的な外来魚の生息実態調査を実施し、生息状況の把握に努めています。

今年度の生息実態調査のうち、産卵期の生息実態調査を以下のとおり実施いたします。

記

日 時 : 平成21年 5月27日（水）午前11:00～11:30

場 所 : 阿武隈川 大正橋付近（伊達市伏黒：大正橋下流右岸）
※ 別紙 地図参照

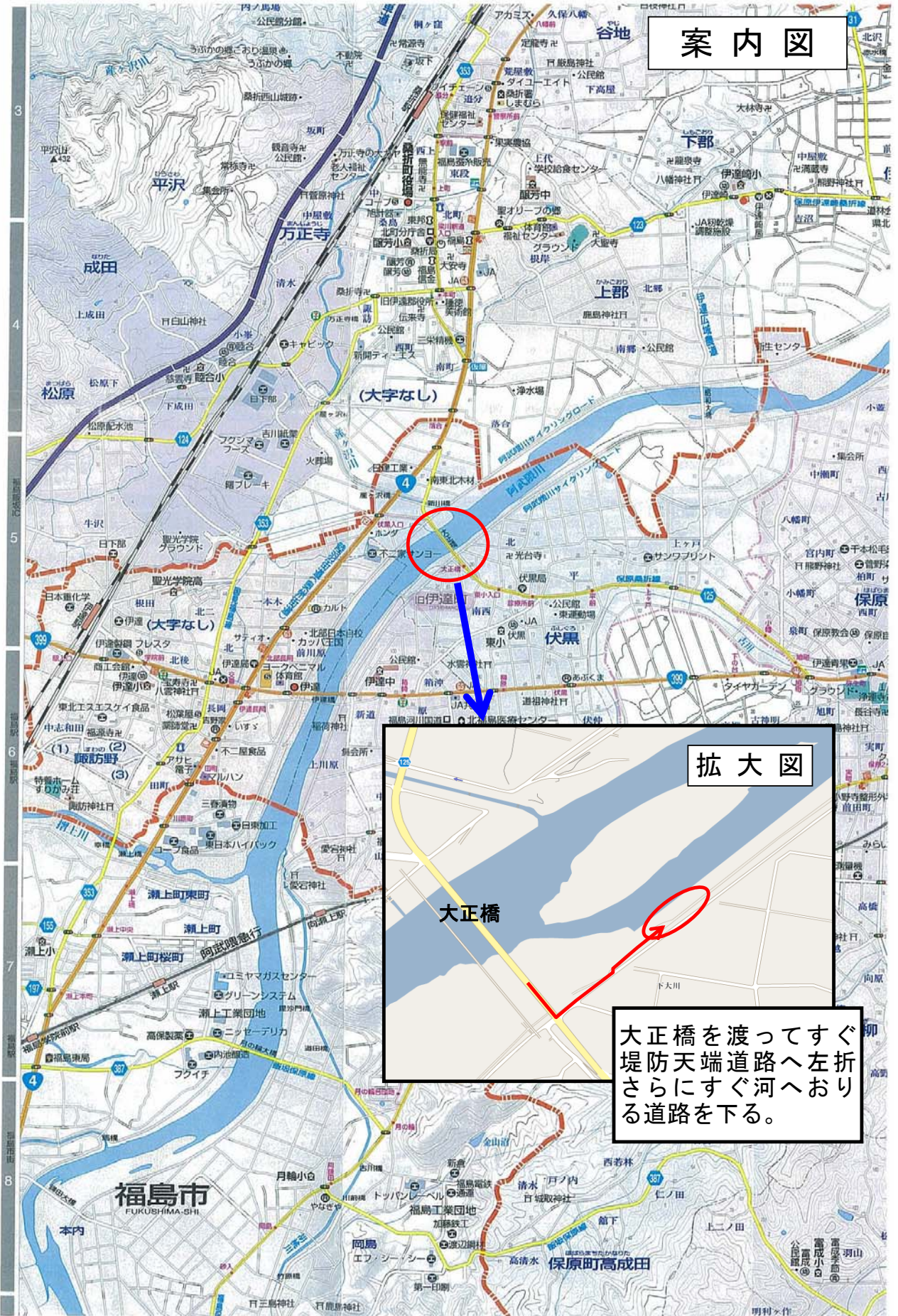
調査内容 : 外来魚の捕獲調査、産卵床の確認調査

（発表記者会：福島県政記者クラブ、福島市政記者会）

お問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所
副所長（河川） 佐々木 秀明（内線204）
調査第一課長 二瓶 昭弘（内線351）
福島市黒岩字榎平36 TEL024-546-4331（代表）
FAX024-539-5381

案内図



拡大図

大正橋

大正橋を渡ってすぐ堤防天端道路へ左折さらにすぐ河へおりの道路を下る。

10-23-1874